

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	Chinese Cancer Society
※	日本進化学会
※	日本小児血液・がん学会
※	糖質学会
※	日本進化学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本化学会
※	日本微生物生態学会
※	日本化学会
※	日本小児血液・がん学会
※	日本ウイルス学会、日本薬学会
※	日本フードファクター学会 (JSoFF)
※	日本RNA学会
※	糖質学会・応用糖質学会
※	日本ウイルス学会、日本獣医学会
※	バイオインフォマティクス学会
※	日本ミトコンドリア学会
※	日本RNA学会
※	日本動物学会
※	日本神経化学学会
※	日本RNA学会
※	日本蚕糸学会
※	日本化学会
※	日本臨床栄養代謝学会
※	日本時間生物学会 日本動物学会
※	日本臨床衛生検査技師会 日本小児血液・がん学会
※	日本育種学会、植物バイオテクノロジー学会
※	日本機械学会
※	酵母遺伝学フォーラム
※	日本薬学会
※	日本動物学会
※	アメリカ微生物学会
※	日本時間生物学会
※	味と匂学会、食品免疫学会
※	日本獣医学会 日本ウイルス学会
※	日本がん転移学会、日本がん分子治療標的学会
※	日本放射線影響学会
※	実験動物学会
※	動物学会
※	日本畜産学会
※	日本動物学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本化学会
※	日本ウイルス学会、日本獣医学会
※	日本畜産学会 日本家禽学会
※	日本臨床ストレス応答学会
※	日本栄養・食糧学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本細菌学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	もうすこしバクテリアのテーマがほしかった
※	免疫系が老化との関連でしかシンポジウムが組まれていなかった
※	脳のテーマが多かったです
※	疾患に関するものが多かったように感じる。以前のように分野の幅の広さを楽しみたい。

質問5-10. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	発表の質問時間内に間に合わなかった質問を、演題のサイトを通してメールで発表者に送れるので、より有意義な情報収集ができたと思う。
※	English is recommended for all
※	進行がグタグタの印象でした。
※	オンラインでの参加者としては、現地で発表している先生がQ&Aを活用できていないことが残念だった。
※	一人あたりの持ち時間が少なく、発表の途中で時間を知らせる音がうるさかった。セッションの中に詰め込みすぎだと感じる。
※	アーカイブを残して欲しかった
※	オンラインでの発表をオンサイトで聴く場合に、スライドの文字が小さ過ぎて見えないことや、会場の音響の質が十分でなく聴き取りづらいことなど、発表内容の理解に困難を伴うことが多々あった。
※	全てのシンポジウムを英語で行う理由について、過去のアンケート結果や海外からの参加者数などを考慮したうえで、十分な説明が必要であると思われる。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	English is recommended for all
※	現地参加した際、一部立ち見が出るほど密になるWSが見られました(特に3階のRoom 6,7,8など)。アンケートなどで現地参加者を事前に予測して部屋割を変更する、部屋の外にモニターを設置するなど、今後対策していただけるとより良いと思いました。
※	ワークショップとシンポジウムの違いがわかりませんでした。
※	シンポジウムと同。
※	セッション数が時間帯によって差が大きかったので、均等にしてほしい
※	アーカイブを残して欲しかった
※	時間(演題数)を少なくし、より多くのセッションを組んでいただけたらと思いました。
※	時間枠の異なるワークショップの開始時間にずれがあり、スケジュールの決定がやや難しかった
※	会場での音声聞きにくかったため、シンポジウムはオンラインで聞いたほうがはっきり聞こえると思った。
※	90分という長さは聴講する身としては適切であったが、限られた時間であり、オーガナイザーの先生方はもっとお話しされたかったのではないかと感じた。
※	オンラインでの発表をオンサイトで聴く場合に、スライドの文字が小さ過ぎて見えないことや、会場の音響の質が十分でなく聴き取りづらいことなど、発表内容の理解に困難を伴うことが多々あった。
※	時間帯が重複していて見たいテーマのものが見れないケースが実際にあったのだが、会期中オンデマンドでそれらの発表が視聴できないのはハイブリッド開催の良さを損なっているように感じた。

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	There are few discussions in the poster, and the query system is inconvenient.
※	オンライン参加でディスカッサー制が働いているか気づかなかった。
※	オンライン参加だったからか、ディスカッサー制があること自体知らなかった
※	自身がお世話になることはなかったものの、制度としては良いと思う。
※	なんだろう、発表を理解しようとして自分の知識だけで質問するのやめてもらっていいですか？と、議論を盛り上げるんじゃなくて論破するのが目的になっているクソみたいなディスカッサーに当たったおいらはおもいまーす。マジでディスカッサーが2年連続でゴミみたいなやつにしか当たってないから廃止でオナシヤス。こんなやつでも議論盛り上がんないよ。
※	ディスカッサーが来なかった
※	オンライン発表ではディスカッサー制が反映されずとても残念でした
※	ディスカッサーとのdiscussionで新たな視点からのもの見方を学ぶことができたため、とてもよかった。
※	ポスター発表をさせていただきましたが、ディスカッサー制度の有無を感じることはありませんでした。
※	ポスターディスカッサー制を知らない。
※	オンライン発表だったが、ディスカッサーの方は来なかった。
※	誰がディスカッサーなのか全くわからなかったので、自分のところにディスカッサーが来ているのか分からなかった。ディスカッサーがいるなら、全部を回り、ポスター賞を作って欲しかった。
※	ディスカッサー制度がいまいちよくわからなかったです。
※	現地のポスターディスカッサーがいないように思われた。自分のポスターには誰もこなかった。
※	オンラインでのポスター発表および閲覧を行っていたが、自身の分野のディスカッサーが実際に発表に来訪することはなくあまり恩恵を感じられなかった。
※	ディスカッサー制度があまり機能していない感じがしました。
※	ディスカッサーの存在を感じませんでした。
※	ポスター総数に対してディスカッサーの人数が少なすぎ、ディスカッサーの負担になっているのではと感じる。
※	ディスカッサー制というものがあつたことを知らなかった。
※	ディスカッサーがきたことに気付かなかった。
※	ディスカッサーシステムについて、あまりよく理解していないまま当日になってしまった。どなたがディスカッサーか分からなかった。
※	議論を盛り上げるどころか論破することが目的になっているオナニーディスカッサーにしか当たったことない。議論盛り上がったためしがない。こんなクソ制度廃止しちまえ。背景を説明しているときに論破のためのクソみたいな質問ばかりしてこっちの説明を妨げてきた挙句「研究目的はなんなの？」とかのたまうクソまでディスカッサーとして選ばれるとかマジで欠陥制度だろ。(まあこんなクソがPIやってる時点でアカデミアがそもそも構造的欠陥を抱えてるが)
※	現地に3日間参加しましたが、、ディスカッサーがいるかどうか不明でした。
※	存在を知らなかった
※	ディスカッサーが機能しているのかがよくわからない。
※	ディスカッサーが来たかどうかわからなかった。
※	そもそもポスターディスカッサーが存在していないように感じた。現地では早くからポスターの前に立っているだけになっている発表者が自分含めて複数見受けられた。
※	ディスカッサー制があることは承知していたが、私の発表についてディスカッサーは回って来なかった。全体の発表を自分が回っているときも、ディスカッサーらしき立ち回りをしている方は見られなかった。
※	発表はオンラインで行ったのだが、ディスカッサー制が今年も採用されていることを知らなかった。

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	現地発表は議論が盛り上がりすぎてとても良かったものの、しばしば密だったように思います。また、現地参加しながらオンライン発表を同時に見るのはかなり難しく感じました。
※	ポスター発表の時間がオンラインと現地で混ざっていてどちらなのかわかりづらかった。オンライン参加だと現地参加のポスター発表はほとんど聞けなくて残念だった。現地の人もオンラインで発表する時間を別で作って欲しかった。ポスターがオンラインでいつでも見れるのはよかった。
※	図や文字が小さくて見にくい
※	チャット形式だと質問しにくい感じがありました。
※	オンラインでのポスターは奇数偶数で分けずに番号順にした方がわかりやすかった。
※	DashboardのFavorite項目は時間別に表示される方が良いと思います。
※	現地での発表についてですが、ポスターの発表分類(1-5の大項目とアルファベットの小項目)を示す大きめの標識が目立つところに立ててあったら助かるなと感じました。数多くのポスターが展示されている中で、どの辺りにどのような分類のポスターがあるのか少し分かり辛く、回って見るのに苦労しました。プログラムにもポスター番号と項目は載っていましたが、スマホ等で小さい文字を見ながらその場で照らし合わせるのは少し手間だったので、標識があったら助かりました。
※	オンラインのポスターは、pdfの画質が荒く拡大しても読めない部分が多かった。
※	現地開催の時よりもはるかに発表を聞きに来た人間が少なかった。オンライン参加だと実質オンサイトでのポスター発表を一切聞けないような状況になっており(見た中では現地参加の人間が誰一人として交流場にいることがなかった)、オンラインで参加しなければよかったと感じた。
※	オンラインのポスター発表ではスライドの共有ができない点で大変不自由だった。そもそも(インターフェイスの不自由さゆえか)viewingに来てくれるひとはいてもディスカッションするには至らなかった。
※	オンラインでポスターで質問しているひとが誰もおらず、とても質問しづらかった。
※	オンサイトでは会場の発表に注力してしまい、オンサイトの発表にはほとんど参加できなかった。オンサイト用のブースなどがあると良かった。
※	オンラインでは現地でポスター発表されている方とディスカッションができず、残念でした
※	ポスターの間隔が狭すぎる。ハイブリットというが、オンラインと現地で完全に隔離されている。
※	オンサイト参加者がオンラインのポスターの発表を見る際パソコン等を広げて議論を行うための場所が少なかった
※	オンラインにポスターをアップロードせず、現地でのポスター発表のみの人がいた。ルールの遵守が徹底されておらず、アンフェアだと感じた。非常に残念でした。
※	・オンラインでポスター発表に参加した際に感じたこと意見交流所での発表ではスライドの共有などが行うことができなかった。互いにポスターのみを見ながらの発表となるが、ポインター等も表示できないためどこを説明しているのかが相手からわかりづらい。これならばzoom等を用いる方が良い。またポスター発表においては現地とオンラインでは完全に分断されており、ハイブリットと呼べるものではないと感じた。現地とオンラインで発表日時が異なっているのならまだしも、同時開催に行われており、少なくとも現地参加をしている人がわざわざPCを取り出してオンライン発表を閲覧することはないと思われた。
※	ポスター発表で、せっかくなのでオンラインだけの時間を別に用意しておくとうよかったと思います。私は現地で参加したので、時間内にオンラインの方との交流をするのは難しかったです。またポスターの偶数番どうし、奇数番どうしがくっついてしまっていて、密になってしまうことが多かったので、次回はそこを変えてほしいです。
※	オンラインとオンサイトを同時刻に発表しているため、オンラインの方には、ほとんどポスターを聞きに来る人がいなかった。
※	現地参加したが、オンライン発表の存在感がかなり薄くポスターのハイブリット形式は無理があると感じた。想像以上に会場が広く歩き疲れたが、間隔を開けることを考えると良いと思った。
※	奇数番号が連番であったため、隣のポスター発表者との間隔がほぼなく、発表スペースが狭かった
※	ポスターの発表時間が75分と以前よりも長めにとって頂いてありがとうございました。多くの方と十分に発表・議論を行うことができました。ポスターに関しては、現地の方とオンラインの方が完全に分離してしまったと思うので、別日にオンライン上で、現地・オンラインの方ともに発表する時間があつたほうが良かったと思いました。(今回の形であれば、発表動画の提出を必須にした方が良かったと思いました。)
※	オンサイトでの発表中は、オンラインの参加者を気にかける余裕が全くありませんでした。なので、オンラインの意見交流場は使えませんでした。
※	奇数・偶数番号同士のポスターが隣接する場合があります、発表時にスペースが狭くなり困った。演題番号をオンラインと現地で個別に振るなどして配慮すると、より快適になると感じた。オンライン参加者のディスカッション時間は、現地発表者の発表時間とずらした方が、より議論を深めることができるのではないかと。
※	オンサイトで発表している間、オンラインのことを気に掛ける余裕がなかった。
※	オンラインと、オンサイトがハイブリットとして機能しておらず、どちらかしか参加できなかったのもったいないように感じた。
※	当日は色々な発表を見て回るので精一杯だったため、オンラインでの閲覧が学会終了後も(1週間程度など)可能だと嬉しい。
※	オンサイトでの発表は初めてであり緊張もした(聞きに来る人がいなかったらどうしようという不安)が活発に議論ができ非常に有意義な時間であった。しかしながら一部ではあるが「そんな言い方する?」というような発言もあり、学会参加者には発表者へのリスペクトの姿勢を欠いてほしくないなと思った。
※	ポスターセッションを1日に3つ設ければ、より多くの発表者とでスカッション出来ると思う。
※	オンラインとの併用は難しいと思った。
※	ただし、奇数偶数の発表時間分けて、現地参加とオンラインが混ざっていたため、密になる現場があつたのは、議論を円滑に進める目的では上手くないと思った。

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンサイト・オンライン間でのディスカッションができればよりよかったと思う。オンサイトで発表している人とオンライン参加者がディスカッションすることは質疑応答中にするには実際難しかったので、オンライン参加者向けの質疑応答時間を設けてもよかったのかもしれない。
※	オンラインでポスター発表を行ったが、私の分野ではオンラインの参加者が少なかったようで、オンライン交流場まで入って議論してくれた人が一人しかいなかった。ポスター発表に関してはオンラインとオンサイトの交流がなく、オンサイトの人とは違う学会に参加しているように感じられた。横浜会場に行けばよかったと後悔している。
※	オンラインとオンサイトを同じ時間にしたのは、オンサイトでオンラインの対応はできないし、オンラインのポスターにアクセスすることも難しい(通信速度とシステムの問題から会場設備からのアクセスはできなかった)
※	説明を聞きたいと思ったポスターの発表時間が自分の発表時間と被っていて残念だった。似たような内容のポスターが別の日程又は時間帯に配置されているとより良いと感じた。
※	ポスター発表はオンラインのセッションとオンサイトのセッションで分けるべきだったと思う。そもそもオンラインのポスター発表はシステムがわからず全く発表を聞けなかった。
※	ポスターとコメント欄の事前公開は良かったがほとんど機能していなかった。コメントは匿名に(発表者に対しては分かるようにした方が良かったのではないかな?)
※	オンサイトとオンラインを並行するのは無理があります。発表者が現地でオンラインに顔を出すのは不可能です。
※	若手優秀賞を設けて欲しい。
※	オンラインで発表する側は全くと言って良い程人が来なかったようなので、オンラインかオンサイトに絞って開催するべきだと思います。また、コロナの影響もあり、オンサイトよりオンラインで開催の方が安心できるのではないかと思います(オンラインの方が海外から参加しやすいですし、現地に来れない等の場合に対応しやすい等の理由もあります)。
※	奇数同士、偶数同士が隣になっているところがあって気になった。
※	例年通り偶数奇数で時間を分けての発表でしたが、オンサイトとオンラインの通し番号だったため、隣のポスターの人と密になる時間があり、少し抵抗があった。
※	感染対策の面からは、ポスター会場に人が多すぎる状態になってしまっているように感じました。
※	物凄く近づいてポスター発表を聞いてくる人がいたため、感染症対策の面で不安を感じた。発表者と質問者の距離を保つためのテープや目張りなどが必要と感じました。
※	横浜会場にて参加させていただきましたが、ポスター発表の際は横浜会場の発表を拝見するので時間がかかり、オンラインでの発表を見る時間がありませんでした。今後、ハイブリッドで行うならば、現地とオンラインの発表時間を少しずらしていただけたら良いと感じました。
※	ポスターのオンライン発表者と現地の発表者の時間をずらしてもらえると有り難かったです。同じ時間帯だと話を聞きたくてもオンラインにつなぐことが出来なかった(オンライン発表をゆっくり聞く場所がなかった)ので残念でした。また、年会期間が終わった後も少しだけポスターを見ることが出来ると有り難かったです。
※	ポスターの配置や発表順に改善の余地がある。オンサイトの発表とオンラインの発表が混在していたため、偶数番号と偶数番号のポスター、奇数番号と奇数番号のポスターがそれぞれ隣り合っていることが多々あった。単純にスペースが不足して発表しづらい上に、三密の回避の観点から極めて不適切であった。また、オンサイトとオンラインの発表の間に交流がほとんどなかったことは残念である。オンラインとオンサイトが分断されるようでは、ハイブリッド開催の意味は薄いと考えている。
※	オンサイトとオンラインに分けたため聞きたい発表が聞けないことが多かった。
※	オンラインでのディスカッションはオンサイトよりもはるかに盛り上がっていなかったのは今後の検討課題であると思われる。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可>※今年の年会では2日目に一日通してほとんどの会場で一日中英語セッションが行われるようにし、その他の日程も常にどこかの会場で英語のシンポジウムが行われるようにプログラム編成しました (その他)

回答者 番号	その他記述
※	同じ時間帯に発表が多く被っているため聞きたい中でも取捨選択が必要だった。時間帯がずれていればもう少し聞くことができたと思った。
※	時間が重なって視聴したいプログラムが複数あった場合に不便だ。
※	特になし
※	もっと英語になれる必要があると感じた。
※	特になし

質問10. フォーラムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述(参加されたフォーラムの感想を含めて)
※	途中、小休憩が欲しかったです。
※	20:45終了だと現地参加の場合夕食をとれる場所が限られてしまうので参加しづらい。
※	ライフワークバランスの観点から、フォーラムの終了時間を早めてほしいと思っています。
※	参加したいものもあったが、次の日に影響が出ないように早めに休むことを考えると少し遅い時間帯であるように感じた。時間を気にすることなく普段関わりがないような人とも議論することができるのはオンサイトでの学会の魅力ではあると思うが、やはりしっかり休んで次の日の企画に参加する必要があるので個人的な考えとしては19時頃までには全てのプログラムを終えるような日程を組むのが良いのではないかと思う。

質問11. 年会・学会の企画や取り組みについて、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	キャリアパスの議論がその場の思いつきで行き当たりばったりな印象を受けたので、事前アンケートをもっと充実させるべきだと思う。毎日がPCRがラボで流行っていました。
※	市民公開講座がとても面白かったです。
※	隣のポスターとの距離が近く、かなり密な状態だと感じた。
※	安心ステッカー→どこに貼れば良いのか分からなかった。文部科学省の方と議論するランチタイムセミナーに参加したが楽しかった。リアルタイムでアンケートをとったり、コメントできたりしてYoutubeのライブ配信に参加しているような感覚だった。様々な考えがあることを知り、非常に有意義であった。
※	オンサイトとオンラインのハイブリッド形式で開催したこと。
※	市民公開講座がとても面白かったです。学会終了後数日間毎日がPCRが頭の中で流れていました笑

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー(横浜会場・オンライン会場)について〈複数回答可〉
(要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	オンデマンド配信を行って繰り返し視聴できるようにしてほしい
※	企業の名前だけの一覧表を欲しいです。
※	事前予約なし(or 抽選漏れ)に当日に並ぶ人が多く見られた。せっかく事前予約の枠を設けているなら、その枠をもっと多くしても良いと思う。
※	来年もハイブリッド開催をお願いします
※	最終日、ポスター発表直後に撤収作業が始まるのは残念だった。ポスター発表後にゆっくり回りたい人もそれなりにいると思う。せめて17時ぐらいまでは展示して欲しかった。
※	企業展示会が、単なる商談の場になっているように感じられた。実際に参加している企業としては商談の場なのであろうが、年会在学術的な交流の場であるならば、より工夫した内容を示していただいても良いのではないかと感じた。

質問13. 年会の発表言語について(本年会では、シンポジウム:英語、ワークショップ:オーガナイザーに一任) <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	字幕が入ると理解のあやふやな部分の助けになるので、より活発な議論になるのではないかと考えます。
※	日本人が英語で発表するときに、質疑まで英語でやる意味が理解不能。
※	特になし
※	英語が原則であるものの、一部日本語による質疑応答も行われており、日本語による会話の方が理解につながるのであれば必要であると感じた。ただ、英語圏の人が理解できるように、英訳はどこかで必要である難しさもまた感じている。
※	英語のセッションが多すぎた。
※	英語がまだまだ堪能ではない学生からしたら、専門用語も多い英語のシンポジウムはほとんど理解できず、勉強にならなかった
※	発表は英語でもいいが、日本語字幕か自動翻訳機の貸し出しなどをして欲しい。
※	専門用語の和訳程度は欲しい自分の研究分野でなかったら聞き取りが難しいです
※	全部英語でいい
※	演者・聴衆のほとんどが日本語話者である以上、活発な議論のために、日本語の発表をメインにするべきではないか？国際学会と国内学会は、それぞれの別の役割があるはずである。
※	特になし
※	日本の学会なので日本語でも良いと思いました。
※	シンポジウム・ワークショップ共に英語で表記されたスライドが多かったため、発表言語を英語にすることで時間が超過してディスカッションの時間を削るくらいなら日本語で発表してもらって、ディスカッションに十分な時間を割けるようにした方が発表者・参加者共にメリットがあると思われる。

質問14. 年会の視聴サイトや、各種マニュアル・ビデオ通話機能を用いたポスター発表の体験会開催といった事前の対応、当日のトラブル対応など、ハイブリッド年会のオンラインサポート体制についてお聞きします
 <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	ポスターのタイムテーブルのページが重く、特定のポスター閲覧後にブラウザの「戻る」でタイムテーブルに戻ると、一番上に戻されるなど、直感的に使いにくかった。
※	スマートフォンで見るとはやや動作が重いときがありましたが、それ以外は使いやすかったです。
※	ポスター発表一覧の発表タイトルの文字色が見にくかった。(https://mbsj.gakkai.online/poster_presentations)各発表のページに飛んだ際に、要旨を見るためにもうワンクリック必要なのは手間に感じた。
※	後日のオンデマンド配信がないことがとても残念です。オンラインでの学会参加をご準備いただいたなら、オンデマンド配信も行っていただけたとありがたかったです。特に分子生物学会は並列セッションが多いため、視聴したいセッション全てをカバーすることが困難に感じます。
※	今回の時間割表システムは使いづらいと思います。
※	オール発表の各演題のzoomリンクページにも開始時間が記載されていると尚よかったです。
※	普段問題なく使えるbluetoothのイヤホンが今回の視聴サイトでは接続切れが頻発した。結局PC内蔵のスピーカーを使用するしかなかった。
※	アプリがいい
※	HP上で毎回パスワード、IDの入力を求められるので不便だった
※	アプリがあるとスケジュール管理がしやすいです。
※	学会のWebサイトを見て、学会後しかすぐにポスターデータが削除されると思っていたが、実際は会期後の土日(12/4-5)もデータは削除されておらず、見られる状態であった。学会の意義を踏まえ、すぐに削除すべきであり、非常に残念であった。
※	現地の会場で、途中で別セッションに移動したところ、部屋に入れず、廊下でオンライン視聴を勧められました。運営の方が新たにWi-Fiを用意して下さり、なんとか見ることができました。次回やる時には、たくさんWi-Fiを用意しておくといいかもかもしれません。
※	検索の入力の際の反応が遅すぎる
※	ポスター発表中にオンラインの方を見ることはできないため、誰がポスターを閲覧しに来てくれたのかよく分からなかった。
※	会場のWi-Fiの増設を希望
※	視聴サイトは演題を見るとタイムテーブルの1番上に戻ってしまい、下の方に記載してある人の演題は見るまで非常に苦労した
※	発表の方法等に関して早めにご連絡頂き、しっかり準備することができました。ありがとうございます。また、体験会も開催して頂いたのがとても良かったです。
※	タイムテーブルのwebページが重く、スマートフォンでは操作しにくかったです。また、お気に入り登録した演題を時間帯ごとに並べられたら、より便利だったと思います。口頭発表はオンライン、オンサイト関係なく視聴・質疑応答しやすかったと思いますが、ポスター発表に関してはオンラインとオンサイトの交流が困難だと感じました。
※	演題(ポスター)の投稿に関しては非常に分かりやすかったが、参加者として演題を検索するとき非常に不便だった。予算の問題が大きいと思うが、例年のようなスマートフォンアプリもしくはプログラム冊子の配布があっても良いかもしれない。
※	オンラインの容量が重く、PDFファイルが開きにくかった。また、ポスター発表において、会場にいる人とオンラインで参加している人とディスカッションできるシステムがあれば良いのと思った。
※	使いやすいが、会場で使うかと言われると、使わないかなと感じた。
※	自分の要領が悪かったのもあるが、現地発表に力を入れていて、オンラインの方まで手が回らなかった。現地発表でも、オンラインで議論を望んでいただけの人とも議論できるようにしたいと思った。
※	オンサイト参加だったのでほぼ使わなかった。プログラムはサイトだけでなくPDFで配布してもらえたらすごくありがたかったなと感じた。
※	サイトが重く、動きが鈍いと感じた。スマートフォンで見ると、よく画面が動かなくなり、見にくいと感じた。
※	プログラムPDFが極めて見づらかったです。
※	何を基準にしてこのクソ使いにくいシステムを選んだのか、理解できない。検討不足と言わざるを得ない。年会費を無駄遣いしないでいただきたい。
※	現地発表の場合でも、オンライン上の人と質疑応答するためのサポートがあるものだと思っていた。(電子機器を全ポスターに手配するのは難しいが、各自のPCを置くためのサイドテーブル付椅子を置くなど)
※	サイトが見にくすぎた。重すぎた。ポスターは拡大しても画質的に見えない。どこで何がやっているのか検索しづらい。ポスターだけでpdfが150枚あり、印刷版もアプリもないのに、どう現地で調べればいいのか、対応が酷すぎると感じました。
※	サーバーが重いのか、ポスター発表のPDFの解像度が悪かった。
※	オンラインとオンサイトでの分離が激しく、同様のポスター発表として扱うのは難しいと感じた。
※	問題なく使えたのですが、少し重たかったです。
※	慣れると使いやすかったです。
※	プログラムの検索機能がタイトルや発表者に限定されていたため検索から漏れるものが多かった。要旨全体を含めて検索できると嬉しい。
※	オンサイトでポスターを発表する際に手持ちのパソコンやタブレットで補足資料を挙げながらディスカッションするといった行為が、オンライン発表用のツールでできなかったのは残念だった。
※	online confが重く、あまり使い易くなかった。来年は改善していただきたいです。

質問15. 年会オンライン視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きます <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	少し本題とはズレるが、1日目のランチタイムセミナーで使用していた、リアルタイムの双方向コミュニケーションサービスがとても良かった。議論よりも対話为目的である場においては、かなり有用に感じた。
※	オンラインタイムテーブルのオーラル発表の項目で、発表者の分野が見えるようにしていただけると興味のある公園を探しやすくなると思いました(今回は講演者の名前にカーソルを合わせてスクロールしないと分野まで見られませんでした)。また、講演者の氏名や演題名、要旨は英語だけでなく日本語もあるとわかりやすいのではないかと個人的に思いました。ご検討のほどよろしくお願い致します。
※	技術的に可能であれば、Zoomでも部屋から部屋へ簡単に移動できるとより便利だと思いました。
※	ない
※	特になし
※	要旨に付箋などの機能をつけれたら良かった。発表者と関連がある発表の検索がしにくかった。
※	プログラム閲覧機能が使いづらかった。
※	無し
※	プログラム検索の際に、要旨の内容まで検索してくれないのが不便に感じた
※	現地にいたためオンラインに参加していない
※	コメント機能はほとんど機能していない。
※	特に口頭発表について視聴サイトの検索が十分機能せず、主に要旨・プログラムのPDFを閲覧していた。
※	サイトが重た過ぎてプログラムの閲覧に手間取った。自分の発表をお気に入り登録してくれている人の数が知りたかった。自分宛の質問が来ている通知がメールで送られてきたのに、視聴サイトではその質問を確認できなかった。
※	年会運営側ではなく、Online Confシステムそのものに不満を多く感じた。
※	よかったところはないです。
※	良かったものがない
※	一応チェックは入れてあるが、これはあくまでも「こういうツールはあると良いよね」という意味合いで、今回の年会で用いられたサイトにはたくさん問題があったと思います。

質問16. 本年会は、長引くコロナ禍で先の見通しが難しい中、オンサイト開催に基軸を置いたハイブリッド開催の準備を余儀なくされ大きな支出が見込まれる一方、協賛企業の出展が相当数減少しました。そこで本年会では経費節約のため年会プログラム集冊子や年会アプリ、オンサイト会場で配布していたポケット判プログラムを作成しませんでした。またそれに伴い、会員の皆様にはプログラム集冊子に同封発送していた学会会報(年3回発行)の11月号も印刷版作成を見送っています。これらについてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	紙資源の削減につながり冊子等の廃止は望ましい
※	プログラム閲覧サイトが非常にみにくかったので苦勞しました。冊子は必ずしも必要とは思いませんが、もう少し可読性を高めて欲しいです。
※	特にポスター発表において、興味のある演題を見つけることが困難だった。要旨をPDF化するのであれば、自身の研究内容に対して自由に複数のタグを設定できるようにすることなどによって、検索を容易にする仕組みも作れるのではと思った。
※	会場で見たいセッションを検索するにはアプリが断然便利でした。
※	会報なんて誰も読んでないから廃止で。ゴミが増えるだけ。アプリを取りやめてクソオンライン要旨システムに一本化したのは害悪でしかなかった。
※	とにかくウェブサイトが使いにくかった
※	プログラム集が紙でないのは不便ではあるものの納得はできるが、せめてPDF版だけでもあると、他の発表の検索や当日までの準備など、分かりやすくなったと感じている。
※	今回の対応でどの程度節約できたか不明だが、参加費をもう少し下げて欲しい。
※	冊子がないのは問題ありませんがPDFファイルにアクセスしづらいと感じました
※	プログラム閲覧については大きな不便を感じた一方、予算の制約があるなかでシンポジウム当日のハイブリッド進行は非常にスムーズだったため評価したい。
※	プログラム簡易版PDFに見難さがあった
※	質問文が長いので、読むのがめんどろ。
※	年会アプリがなくても特設サイトで検索ができ、かつ会場でwifiが使えるので問題は感じなかった。
※	できれば、紙媒体のプログラムが欲しい。web完結型でも良いのだが、もう少し視聴サイトの操作方法が直感的でわかりやすくなると、不便であった。
※	画面の大きいpcから視聴することも考えればアプリ版である必要はないかもしれないが、アプリ版は演題の検索、お気に入り登録、マイスケジュール管理などなど非常に良かった。文句なしだった。
※	去年までと同様の要旨閲覧アプリさえあれば、冊子など他は一切なくて不便はない。視聴サイトのプログラム検索はタイトルでの検索しかできないので使い物にならなかった。ダウンロードしたPDFの要旨集を検索して対応したが、予定の管理が煩雑だった、ワード検索がうまく動作しないなど、多くの不満があった。要旨アプリの検索機能、マイスケジュール機能は本当に素晴らしかったのだと再認識しました。
※	紙媒体の冊子は必要なく、学会HPのみで問題なかった。しかし、学会HPの動作が全体的に重たいこと、シンポジウム・ワークショップなどのブックマーク機能がないことなど、不便な点が幾つかあった。
※	なぜONLINE CONFクソシステム一本でいけると思ったのか謎。もしかして分生参加したことない？分生は演題数があまりにも膨大という性質上、参加者が効率的に情報を集めるにはどの演題をみるか事前にスケジュールを立てることは必須。その効率化のためのアプリだったのに。
※	不便ではあったが、予算の都合なので納得できる。しかし、肝心のオンラインツールが使いづらく、モバイルデバイスで見るとも全く想定されていない点に不満が残る。
※	来年はアプリを復活させてほしいです。
※	年会ホームページが軽く、かつ見やすくなればオンライン版だけで十分に思う
※	年会で催されている企画にオンサイトで開催する意義があると思われないものが多々あった。また、感染対策は重要であるが、オンサイトで参加する以上は参加者が意識することで、それに付随する特典や企画が本当に必要なものであったかは疑念が残る。年会が今後も開催されるのであれば、学会独自に発表用のアプリケーションやツールを保有しても良いのではないだろうか。また、このようなアンケートを取るのであれば、会費・参加費がどれにどのくらい充てられたのかを開示した方がアンケートに答えやすいと思われる。特に学生会員など運営に携わっていない立場からすると実情が分からない。

質問17. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	地方都市では宿泊施設に困ることが多いので、オンサイト会場に地方施設の選択は望ましくないと思う。
※	オンラインも今後も併用した方が遠方の人も参加しやすい。
※	やはり現地で実際に研究者同士で交流するという機会は貴重なので、今後もオンサイトでの開催があった方が嬉しいと感じる。一方で、(現地までの距離や日程などの都合で)オンサイトで参加が難しい場合にも、オンラインでなら参加の機会を得やすいことも、嬉しいことだと感じる。
※	ハイブリッドにしたことでオンライン参加の人間がオンサイトの発表者の発表を聞けず、直接議論すらできなかった。現地で盛り上がってオンラインがおろそかになるのであればオンラインかオンサイトどちらかに絞るべきである。
※	完全オンラインか、オンサイトどちらかにするべきだと考えられる。
※	ポスター発表は原則現地の方が発表側も見る側もやりやすいと思います。
※	ポスターがオンラインとオンサイトのそれぞれあるのが不便だった。オンサイトの参加者はほとんどオンラインを見る余裕がなかったように思う。
※	基本的にオンサイトで良いが、ワークショップ、シンポジウムは聞きたいテーマが2会場に跨っていた時に、移動なく二つを聞くことができたのは良かったので、続けて欲しい。
※	ポスターは現地が良い。ワークショップシンポジウムはオンラインまたはハイブリット開催が良い。理由は①会場が満席で入れないということがない②会場間の移動がないため、異なるワークショップ間の移動が容易③午前中はオンラインで参加し、午後から現地に行くことで朝の通勤ラッシュを避けることができる。
※	オーラル発表はハイブリッドで。ポスター発表は完全に現地だけにするのが良いと感じた。データ管理の都合上難しいかもしれないが、オーラル発表は数日間だけでもアーカイブがあるとよかった。
※	ハイブリッド開催の方が良いがポスター発表では現地とオンラインでほとんど意思疎通する余裕がない
※	オンサイトとするかオンラインとするか、完全に分けてほしい。

質問18. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	抑止として院生など向けに撮影は禁止であることなどを周知する方がいいかと思いますが。
※	そもそもオンライン配信をしている時点で、録画、スクリーンショットにより複写することは容易であるため、その議論は無駄だと思う
※	学会のWebサイトをみて、学会後しかすぐにポスターデータが削除されると思っていたが、実際は会期後の土日(12/4-5)もデータは削除されておらず、見られる状態であった。学会の意義を踏まえると、すぐに削除すべきであり、非常に残念であった。
※	どこかのワークショップの会場で前に座っていた参加者が、ポスターをスクショしてまとめているのを見かけたので、スクショができないような対策してほしい。(カメラで撮影されればお手上げだが、、、)
※	システム上ダウンロードできなくとも、実際にはスクリーンショットを取ったり動画録画できるので、その点の議論の意味はあまりないと思います。
※	どの発表形式でもパソコンのプリントスクリーン(スクリーンショット)機能で撮影できてしまうのは今後の重要な課題であると思われる。参加費を払っている以上は、会期中オンデマンドで公開されていることが望ましい。一方で、ポスターを事前公開するのは避けたい。

質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会的あり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	オンラインでの視聴は、システムが比較的使いやすく、よかったですと思います。ポスターは、現地発表者の演題も、オンラインで閲覧出来るほうが良いと思いました。このアンケートの問いが誘導的で、適切で無いと感じました。
※	Please allow playback
※	サブグループでの研究会を活発に行ったり、学生発表賞を充実させたりすると良いと思います。
※	前回のシステムの方が良いと思います。
※	オンサイトには初めて参加したのですが、3日通して特に大きなストレスもなく、純粋に楽しむことができました。
※	コロナ禍でここまで充実した学会を経験できたことは本当に貴重でした。様々な準備は大変だったことと推察しますが、ありがとうございました。
※	ポスター展示のスペースについて、幅90 cmまで使えると書かれていたが実際はそれよりも狭かったと思います。隣のポスターと被っているものも多く見受けられたので、事前に知らされていたスペースはしっかり確保してほしいです。
※	オンラインの編成がすごくちゃんとできていて探しやすい聞きやすかった
※	ポスターが解像度の問題で見づらかったので、改善してほしい。
※	なんであんなゴミみたいなオンラインシステムにしてしまったのか理解できない。サイト制作会社と癒着でもしてたんか？無駄なアニメーションを入れているのもあってサイトが重い(多人数接続してたらなおさら)、ユーザーインターフェースもお気に入りボタンが見つげにくいなどの点からクソ。演題をお気に入りしたところで、自分のダッシュボードからしか見られないのと、リストとしてしか表示されないの、結局お気に入りする利点が全く分からなかった。アプリでは自分だけのタイムスケジュールを作れた憶えがあるが、あの機能を実装しなかったのが意味不明。結局、オンラインシステムが重すぎて使いづらすぎるので、ポスターをオンラインで見ることはなかった。ただ、zoom上で発表を流すのは、部屋移動せずにきになるワークショップ間を移れるので、今後も続けるべき。手でスライド見れるし。
※	ポスター発表では現地発表者から直接発表を聞くこと、議論することが一切できず、さらには誰一人として交流場にならなかった。自分含め何人かのオンライン参加者とも話したが、みな発表を聞きに来た人数が現地発表に比べて少なかった。ハイブリッド(実質オンサイトでないと学会の良さを感じられない)のであれば、オンサイトかオンラインのみにするべきである。今回ハイブリッド開催におけるオンライン参加には非常に不満を覚えた。
※	・ポスター発表のオンサイト/オンライン比が偏っており、オンラインでの発表では活発な議論が行えていないと感じた。・ワークショップに関しては質問者を画面に映してもらいたかった。
※	一般演題のポスター発表をオンラインで行う場合は、ポスターを見ている人とすぐにコミュニケーションを取れるようにしてほしい。また、オンラインでは現地での発表に参加できないため、ハイブリッド形式を続けるなら、現地とオンラインを繋げるツールが必要だと思う。
※	全体的に演題が探しにくく、不便な学会でした。
※	北海道と仙台と沖縄に行きたいです。
※	今回のオンライン形式はやりづらかったです。オンラインで見に来る人も少なかった。ポスターの拡大がやりにくい
※	オンラインでのポスター発表は交流がしにくく盛り上がりませんでした。
※	分子生物学会にはじめて参加したが、1回目の参加にも関わらず、年会費は2年分支払わなければならないのは納得がいかない。年度の切り替え時期を3月4月に変更していただいて、一回の発表につき一年分の年会費で済むようにしてください。
※	初めての学会参加であったが、いづどこで何をやっているのかがとてもわかりにくく、見たかった発表を見逃してしまった。もう少しわかりやすいスケジュール表が欲しかった。
※	ポスター発表を現地でしましたが、オンライン参加の方との交流は全くできませんでした。オンラインのポスターをみることもなかったのでポスターに関しては現地参加のみにするか、もしくはオンラインのみにするかの方がいいのではないかと思います。もしくはオンラインとオフラインで時間をずらすなど。
※	視聴サイトの表示に時間がかかり使いにくかったため、アプリ配信を希望したい。ポスター発表で、隣のポスターが奇数番号同士・偶数番号同士の場合、発表者・参加者が密の状態になっていて発表しづらそうな時があったり、マスクをしているとはいえコロナ禍の状況であまりよくないと感じた。ポスターパネルの配置をさらに検討すべき。
※	データの取り扱いについてはきちんとすべきである。
※	ハイブリッドで問題ないが、オンラインの使い勝手が悪かった。ポスター発表では戻るを押す毎に、一番上まで戻されているためその都度下のセッションまで下りて探す必要がある。また、自分がチャットで質問したポスター発表に返事がついたかどうかの連絡が来ないときがほとんど。自分で確認にいかないと質問に対して返事がきたかどうかはわからない。この辺の使い勝手が非常に悪かった。あと、全体的にアクセス数もあってか動作が重かった。
※	コロナ禍という難しい状況の中、年会を開催して下さったことに感謝いたします。オンライン参加においてポスター発表に関しては前述のような問題点を感じたものの、シンポジウム・セッション等では不自由なく視聴でき、むしろオンサイトよりも気軽に視聴・質問を行うことができました。次回の年会のご成功と、学会の益々のご発展をお祈りしております。
※	久しぶりのオンサイトでとても楽しむことができました。ポスターはやはりオンサイトならではの良さがあったようにも思います。開催していただいてありがとうございました！
※	12月頭の学会発表のために日本分子生物学会に入会したが、申請から発表までの期間に期をまたぐため、前期は1か月も所属していないのにも関わらず2回分の会費が必要になるのは不親切だと感じている。運営に予算がかかるのは重々承知しているが、やり方を考えるべきだと思っている。
※	楽しかったです。
※	先述してありますが、ハイブリッド開催は双方の利点があり、それらが非常によく生かされていたので来年も同じ形のハイブリッド開催を希望します。
※	コロナ禍の中、貴重な対面での発表経験となりましたので、オンサイトで発表できる機会を来年以降も頂けたら嬉しいです。

質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会的あり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	オンサイトで参加しましたが、様々な研究を気軽に見られるし、オンラインだと部屋に入りにくい場合でも、オンサイトであれば聴きやすくてとても学びが深まりました。
※	キャリアパスセミナーがとても好きなので今後も続けていただきたいです。
※	現地にてポスター発表を行い、とても良い環境で発表させていただいたと感じております。しかし、現地とオンラインのポスター発表の違いも感じました。ポスターを現地発表時、オンライン参加者とのインタラクションは発表時間後の掲示板へのコメントで行うことができましたが、発表時間中スマホでオンラインで見に来ている人がいるか確認するのもどうだろうと感じ、結局、オンライン通話を用いた発表まではできませんでした。現地のポスターも多く、対面で話を聞きたかったというのが大きいのですが、大会期間中は、現地のポスター発表のみめぐり、オンラインポスターの発表は聞きませんでした。webサイトでは、後からポスターを確認するなど、オンライン発表のポスターをいくつか見ることがあり、webサイトは大変便利でした。
※	初のオンサイトで参加だったが、オンラインよりも得られる情報量が多く有意義だったため(短時間で色々なポスターを見ることができる、他の参加者との交流がオンラインよりも楽など)、できる限りオンサイトで開催を続けていただければ嬉しい。
※	初めての学会で有意義であった。コロナ禍によりヒトと話す機会が無かったため久しぶりに話す事が出来た。プログラムや抄録集はほしいと感じた。
※	分子生物学会に今回初めて参加した。都会「横浜」での開催ということもあり、全体としては楽しめたかなと思う。あまりポスターで議論の輪に入っていけなかったりなど学会の雰囲気になじむのに時間がかかった。しかしながら企業の方や他大学の方の発表などを聞くことができ新鮮であった。特にランチタイムセミナーで文部科学省の方のお話を聞くことができたのは非常に有意義であった。次の学会ではもっと積極的な姿勢で参加し、より活発に議論ができるようにしたい。分子生物学会に携わったすべての皆様に感謝申しあげます。ありがとうございます。
※	今回初めて本学会に参加したが、オンサイトでは対面でのディスカッションが行いやすいため、現地開催を基本として今後も運営していただけたら嬉しい。
※	質疑応答の時間が短い。スピーカーを厳選して(減らして)、質疑応答の時間をもっと長くしてほしい。また質問が出ない時は、もっとオーガナイザーが頑張るべき。
※	去年の完全オンラインでの学会は演題を効率良く、たくさん聞く分には非常に都合が良い一方で、研究者間での交流の場がなかった点が残念でしたが、今年はオンラインの良さや現地開催のメリットを享受できた点で素晴らしかったです。オンラインのポスター発表システムと要旨検索システムだけは今後改善してもらいたい点ですが、ハイブリッド型の学会は今後も是非続けていただきたいと感じました。言語についてですが、要旨はタイトルのみ日英の併記、アブストラクトは英語でなく日本語に統一してほしいです。
※	2年ぶりのオンサイトでのは大変楽しかったです。オンサイトで参加していても、後ろの席でスクリーンが見えにくい際や、別のシンポジウム(またはワークショップ)の特定の発表だけ聴きたいなどの場合に、ハイブリッド形式による恩恵を受けることができ大変便利でした。ポスター発表も、帰宅してからゆっくり見逃した分を拝見したり、事前にポスターを見て翌日質問に行ったりすることが出来ました。最終日の最後の市民公開講座は、帰りの新幹線の中で拝聴しました。分子生物学会は日本最大の学会であることもあり、進歩的で、毎年面白い取り組みや議題に出会い刺激をもらえる最高の学会です。B4から毎年参加していますが、もっと早く分生に出会いたかったし、将来もし自分の学生をもったり子供が出来ることがあれば、真っ先に連れて行きたいと思えます。今年もありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。「毎日PCR」最高でした!!!
※	しょうもないテーマソングやらステッカー作ってる暇あったらオンラインシステムをなんとかすればよかったのでは? あんな機能不十分なくせに超絶動作が重いシステムを選定した経緯を公開すべき。あと、プログラム集がアップされるのも大会数日前と、あまりにも遅すぎる。もっと早く公開できたのでは? てか、PDFにして配布するなら、題目集だけじゃなくて要旨集も作ればよかったのでは?
※	厳しい時勢の中、ハイブリッド開催という英断を取っていただきありがとうございます。多くの不満がAGRI SMILE社Online Confシステムに起因するものだと感じました。ここ数年で発足した業界であるため、なかなか選定も難しいとは思いますが、来年以降のオンラインシステムの改善を願います。
※	若手参加型のセッションや会を増やしてほしい。また、ポスター賞をお金のかからない(学会負担があまりかからない)上で復活させて欲しい。副賞はいらなくても、賞をもらえたというモチベーションは本当に嬉しいものだと思います。
※	参加者としてはオンラインでの参加の方が様々なワークショップに参加することができてよかったと思っています。今後の感染状況がどうなるかわかりませんが、ハイブリッド形式での開催は続けてほしいと思いました。
※	感染対策が不十分なように感じた。当日に来る方や来場時には、ワクチン接種証明書の提示の義務付けもしくは抗原検査を行う必要があるのではないかと感じた。また、当日に安心ステッカーを配布時にドリンク交換チケットが配られる予定であったが、数が足りないとのこと、交換チケットをいただくことができなかった。付随する商品等があれば、安心ステッカーが欲しいと思う方がより増えると思うため、もう少しバリエーションを増やしてもよいのではないかと考える。
※	このアンケートを通して感じたことではあるが、国内学会なのか、国際学会なのかを明確に意識した方が良いのではないかと。そこが曖昧ゆえに、余計な配慮が生じているように思われる。国内学会であるならば、招待講演以外は日本語だけで構わない一方、国際学会であるならば英語だけでは不十分であろう。オンサイトとオンラインを併用したハイブリッド開催が困難なことは理解しているが、オンサイトとオンラインが分断され、年会参加者同士の交流が減っているが、このことが年会的意義を薄れさせているように感じられる。分断の原因には運営側・参加者側双方の配慮が不足であろう。運営側にはより使いやすいツールを採用していただき、参加者側はより積極的にオンサイトとオンラインの垣根を越える姿勢を持つことが今後必要だろうと考えている。
※	研究室でも発表を聞くことができるのはオンサイトの大きな利点だと感じましたが、ポスター発表はやはりオンサイトの方が意義があると感じました。シンポジウムのライブ配信は是非今後も続けてほしいと思えますが、基本はやはりオンサイトでの開催を希望します。

質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会のあり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	学会配信のメールにて「やはり人と会って話すといいね!!」という意見が多く聞かれたのであれば、オンライン開催についての意見（不満）を年齢層や所属などに分けて統計を取ってみても良いと思われる。場所を選ばず、開催地の確保などに経費を割く必要がなくなるのであれば、オンライン化を推進することが望ましい。上記意見を聞く限り、オンラインでもできることがオンサイトで良かったと感じるのは、運営の中にオンラインを使い慣れている人たちが少ないのではないだろうか。予算について、オンライン化に伴い企業の参画が望めずに先細りが予期されるのであれば、関連する学会で合同の年会を開催した方が一か所に参加者や参加費が集中して都合が良い。できればその延長線上で、学会発表用のアプリケーションを開発するのが望ましいと思われる。
※	オンラインでポスターについてコメントできる点が良かったです。オーラル発表もオンラインで視聴でき、ハイブリッド形式で感染対策をしつつという点が良かったと思います。不満点はonline confです。動きが重く、お気に入りにしてもその発表を探しにくいといった点がありました。来年は改善されることを期待しています。